



なのみ通信

令和5年度 筑前町立東小田小学校 学校通信 10月4日 第8号

自ら楽しみを創る子どもの育成

教室訪問をした際、3年生の子どもたちが音楽室で合奏の練習をしていました。「校長先生に聞いてもらおう」との声かけて、息のあった合奏を2回も披露してくれました。とても楽しく、そして素敵な演奏でした！



体験を通して学べるもの ～不易と流行～

2学期がスタートし、子どもたちも様々な学習に取り組んでいます。タブレットやリニューアルした電子黒板を活用した学習は、私たちが小学生時代になかった学習用具や学習機器です。様々な学習場面で日常的に活用することができるようになりました。様々な情報が氾濫する社会において、必要な情報を選択したり判断したりする力、ICT機器を活用して他者と協働して、問題を解決したり一緒に何かを創造したりする力は、これから求められる力と考えます。新たな時代を生き抜く子どもたちを育むために、道具としてのICT機器の活用は、今まさに「流行」として、教育活動に取り入れているところです。

一方、「不易」の部分も大切です。私たちは、これまで様々な体験を通していろいろなことを学んできました。この体験を通して学んできたことは、実感として心に残り、力となってきました。インターネット等で様々な知識を得たとしても、体験でしか学べないこともあります。このような新たな学びとしての「流行」、そして、これまで大切にしてきた学びとしての「不易」を大事にしながら教育活動を進めていきたいと考えます。

【様々な体験を通して学ぶ子どもたち……】



【移動動物園（1・2年生）】



【上靴洗い（1年生）】



【ナップザックづくり（6年生）】

9月22日、「移動動物園」として、たくさんの動物が東小田小学校にやってきました。1・2年生の子どもたちは、「ひよこ」や「モルモット」を膝にのせ、餌を与えたり触ったりしました。時には、膝に敷いたタオルの上に小さな「うんち」を出す場面にも出会いました。実際に動物を観察したり、触れたりする体験は、「いのち」を感じる学習となります。動物とふれあう子どもたちの笑顔がとても素敵でした。

また、1年生の生活科の学習では、子どもたちが自分の上靴を一生懸命に洗っていました。

「校長先生、みてみて真っ白になったよ」「校長先生の上靴も洗いましょうか」と声をかけてくれました。自分の上靴を一生懸命洗い、きれいになっていく達成感は、子どもたちにとって素敵な学びだと感じます。

さらに、5・6年生は、家庭科の学習で「ミシン」に挑戦しています。家庭で「ミシン」を使ってものをつくることはだんだんと少なくなってきました。6年生が今つくっている「ナップザック」は、修学旅行に持って行く予定です。真剣に「ミシン」に向き合う子どもたちの姿は、作品が完成したときの喜びにつながるものと感じます。

これから10月に入り、5年生は林間学校、6年生は修学旅行を体験します。宿泊を伴う体験は、子どもたちの自立を育みます。そして、友だちと一緒に何かを成し遂げる体験からは、役割に対する責任や友だちと協力することの大切さを学びます。平和についての体験を通した学びはもちろん、友だちと一緒に何かをやり遂げる体験は、高学年としての成長につながるものと思っています。

体験を通した学び……。家庭や地域でも、できることがあれば様々な体験にチャレンジしてみてください。